

童

2024年4月26日。

新年度 新学期が無事始まりました。劇的な慣らし保育初日。朝から暴風雨に近い雨降り。さすがに、こんな天候では、室内でしょう！？ というのが一般的。しかし、朝のミーティングの大地スタッフからは、当たり前のように、外で過ごす計画。(数年前は、とんでもない大雪の時もありましたが)。まあ、これも、コロナ化で鍛えられたことと、3年前に東屋が完成したおかげです。それ以上に、午前中は、外 午後は 室内というリズムが、子供たちの中に確立されている賜物です。

新入園児も進級児も、毎日欠かさず歩きます。御存じのように、大地には平坦な道はありません。散歩と言えば、行きは、ほとんど下り道を行くしかありません。とどのつまり、戻りは必ず坂道を登って来るのです。これが毎日ですから、どんなに丈夫になるか。それは、大地に在籍して、誕生会で毎年受けとる誕生板の足形を見れば、一目瞭然です。

その散歩道は、ほとんど土道。全て林や田んぼや果樹園で民家無し。時折通る車は、軽トラかトラクター。道の脇には、野草や野の花や、今では、こごみ・わらび・タラの芽などなど。小川や泥道や土手があり、そこにはオタマジャクシやかねちよろやいもりなどが遊んでいる。公園などにある高価な遊具とは真逆な、自然で魅力的な遊具がたっぷりあります。

この魅力の虜になれば、自然に、雨だろうが嵐だろうが 行きたくなるのは当たり前でしょう。こんな慣らし保育をたっぷり味わった後に、いよいよ、また一つ魅力的な、大地の室内遊びを味わうという順番でした。大地のセミナーに参加したらわかりますが、これが 静と動 陰と陽 影と光 夜と昼 収縮と拡散 という宇宙のリズムなのです。大地は、このリズムに従って生活しているのです。文武両道 おちゃらけと真剣さ おふざけと真面目さ 遊びと勤勉・・・対極を楽しむ暮らしが面白いのです！！

さて、連休も、おもしろい 遊び 働き 学び・・・静と動を楽しみましょう！！



【ソファとカウンター】

百花繚乱 文字通り 大地は 桜が咲き乱れ お花やタンポポが咲きほころび、リンゴをはじめ、樹木が芽吹き始め、躍動感あふれる春を迎えています。

3月下旬から4月当初まで、珍しく体調を崩し(身体は通常のように動きましたが、喉の痛みと微熱が続き)、風邪が長引きましたが、躍動感あふれる季節のエネルギーで元気になりました。そのエネルギーが満喫できる源は、なんとのはな文庫です。

3月中旬 文庫にカウンターテーブルを作り、ソファを入れた事から始まりました。かねてから、文庫からの特に朝日の昇る景色の美しさや志賀高原の山並み、空 山 丘 水田 リンゴ畑 そして、大地のスロープ の絵のような光景を見ながら、ゆっくりとお茶を飲んだり食事をしっかりと楽しみたいと(それなりに楽しんでいましたが)思っていました。手ごろな板が見つかり、カンナをかけて美しく再生し、倉庫の隅に保管してあった鉄脚を付けたら、素晴らしい上出来なテーブル完成。ソファは、メルカリで、飛騨産業のものが格安で手に入り、これを組み合わせたら、予想通り期待以上の座り心地の良さ！！ 春のキャンピング中も、毎朝暗いうちからここに座り、大地モルゲンロートを味わいながら、いろいろな発想が湧きあがりました。

そうです。このソファとカウンターから眺める景色 世界が、現在 やる気の出る源なのです。目の前の景色を眺めながら、30数年前のリンゴ畑だった何の変哲もない普通の果樹園から、こんな素敵な世界が生まれてきたとは と感慨にふけり、そうだ この景色というキャンパスに、絵を書いてきたただけなんだ、理想の絵を次々に書きながら、その絵を書く手段として、建物を建てたり、樹木や花を植えたりして楽しんできたただけなんだと。そこには、純粋無垢な付き合いのできる子供たちがいつもいるんだ という絵を書き続けているんだと。

文庫から眺める景色に額縁を付けて、一つの大きなキャンパスの画面を見ると、あの木は景色のバランスを崩しているかもしれない、あの建物は、汚いかもしれない あそこに緑があったならば・・・といろいろな発想が浮かんできます。不思議なことに、目の前だけではなく、文庫の裏や横など、大地の敷地全体の光景も見えて来てしまうのです。

その例として、スロープの大きなミズキやクヌギの木などを伐採した結果、更に美しい景色が広がりました。大地の車の車庫や倉庫も、壊して新しい車庫や倉庫を作る計画などは、4月当初はまったくありませんでした。が、キャンパス上で、この部分があまり美しくないと見えてきて、ここを壊してきれいに描く計画浮上。更に、壊したら、ぼつんと残った大きな墓石(大地の歴代の動物たちの墓)とケヤキもここではバランスが悪いから移動しよう。文庫内も、カフェのようにゆったりとできるようにレイアウトを変えたり、キッチンミニリフォームしたり などなど。

結局、大地30年の歴史は、何もなかった白紙のキャンパスに、まず、中心となる現園舎の建物を書いて、そこに、次々に、いろいろなものを書き続けている、何とかトータルバランスを常に修正維持しながら、それもほとんど、自らの手で、楽しみながら 身体を使ってやってきている というものでしょう。

更に、このソファに座ることにより、キャンパスに描くことではない違ったやる気が生まれてくるのです。それは、精神的なやる気。このキャンパス上に戯れる子供たちと共に、自分の好きな遊びを楽しみたいというイメージが、ふつふつと沸いてくるのです。毎日の森や林や田園への散歩も、さぞ楽しいだろうからどんな天気でも出かけよう。桜の満開の中、ゆったりとお花見弁当を広げて時を過ごせたら楽しいだろうと思ひ、そぼろ弁当作りを企画。タラの芽と言えば、天ぷら。やはり、好きなそば打ちをして天ぷらそばを子供たちと一緒に食べたい(と言っても、そば打ちを始めてから、そばをほとんど食べれなくなった！？)から天ぷらそば給食を企画。休日や時間があるごとに、文庫のソファに座り、景色を堪能している幸せを、皆にぜひ共有して味わってもらおうと文庫カフェを企画・・・

様々なやりたいイメージがどんどん、このソファから生まれてくるのです。そして、それを、好きな時にやる気が伴って実践できる幸せ。ライフワークを自分の中に探す2つのポイント。一つは、24時間やり続ける事ができるぐらいの大好きなこと。2つ目は、お金を払ってでもやりたいこと。まさに、建築土木リフォームインテリア設計施工作業などはずっとやっても楽しいし、子供たちと共に楽しむ企画などは、ぜひお金を払ってでもやらせて欲しいと思ひ(壮年期になっても、ドリフターズのようにばかばかしい事ができる幸せ)、それが次々にできる幸せ。

大地の百花繚乱。百花繚乱とは いろいろの花がはなやかに咲き乱れる意から、各方面からすぐれた人物が多く輩出し、それとともに時代を画すようなすばらしい作品や業績が一時期にたくさん現れてにぎやかなこと。

面白い魅力的な親や子供たちがどんどん育ち、幸せで平和な一時代が築かれていくことを願います。

